

## 苦境の学生救って 4大学に各80万円 名古屋キワニスクラブ

子どもの福祉向上や教育支援を行う社会奉仕団体「名古屋キワニスクラブ」（中村区名駅一）は二十二日、新型コロナウイルス禍で困窮する大学生を支えようと、県内に本部を置く四大学に各八十万円を贈った。



相羽会長から目録を受け取る県立大の久富木原学長。名駅の名古屋マリオットアソシアホテルで

同区内のホテルで贈呈式があり、愛知教育大（刈谷市）、県立大（長久手市）、県立芸術大（同市）、豊橋技術科学大（豊橋市）の代表者に、同クラブの相羽博文会長（東郷製作所専務取締役）から目録が手渡された。

相羽会長は「学生は緊急事態宣言が解除されても経済的に厳しい状況にある。少しでも希望を持って生活してほしい」とあいさつ。

県立大の久富木原玲学長は「貴重な学生生活四年間のうち、学生は約二年もまともにもに大学に通えていない状況。心のこもった贈り物に感謝したい」と述べた。

同クラブには百四十二人の会員があり、毎年十月下旬に「キワニスワンデー」と称しさまざまな奉仕活動をしている。昨年度も同様に名古屋市内の三大学に各百万円を贈った。